

NEC 価値創造の軌跡

日本電気株式会社（NEC）は、日本初の外国資本との合弁企業として1899年に設立しました。創業以来、「ベタープロダクツ・ベターサービス」の精神で、通信機器、コンピュータなどのICT機器に加え、NECならではの技術力を活かしたサービスを提供しています。

1899

日本電気株式会社設立

創業の精神「ベタープロダクツ・ベターサービス」

常により良い製品・サービスを提供することで、お客さまの満足と喜びを創造



創業者：岩垂邦彦

1977

C&C宣言

コンピュータと通信の融合

世界中の人々がいつでも、どこでも、誰とでもつながるようにしたいという思いは、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」にも通じる



インテルコム77でC&Cを提唱

2013

社会価値創造型企業への変革

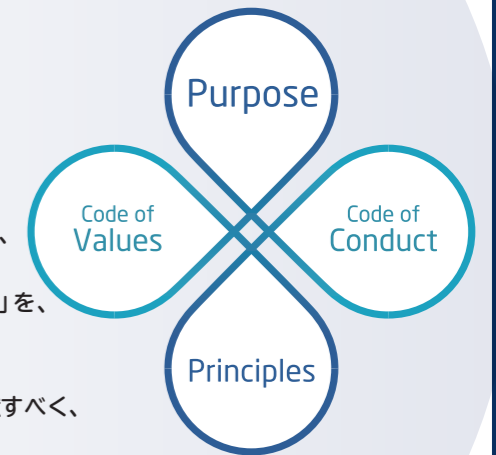
Orchestrating a brighter world

NECに対し、お客さまや社会から期待される価値が、私たちの技術や製品そのものから、価値を生み出すコトに変化していることを受け、「2015中期経営計画」で、社会にとっての価値を創出する社会価値創造型企業への変革を宣言

2020

NEC Way

創立120周年を迎えたことを機に、2020年、「NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します」を、私たちの存在意義「Purpose」としNEC Wayに規定しました。NECは2030年のSDGs達成に貢献すべく、社会課題起点の事業活動をより一層推進してまいります。



これまで培ってきた NECの強み

*1 米国国立標準技術研究所 (NIST) 主催のベンチマークテストで8回第1位
*2 NIST主催のベンチマークテストで5回第1位